

## 令和6年度 第3学期始業式 校長講話

明けましておめでとうございます。3学期は学年の成果をまとめる学期ですが、入試もありますので登校日数が少ないことはご存じのとおりです。

3年生は2ヶ月足らずで卒業を迎えますし、1・2年生はあと3ヶ月で進級です。みなさん自身が次のステージでどのような成果を出したいのか考えて、今学期の目標あるいは2025年の目標を立ててください。

なお、目標と目標達成のための行動計画はセットです。目標達成のために実践しなければならないことを考え、できることから行動に移してください。

それでは第3学期始業式にあたり、3つお話しします。

まず、雑談のような内容で申し訳ないのですが、今年の干支に因んだ話です。今年の干支は「へび」です。巳年と言いますが、へびは脱皮して成長しますので、巳年は「生まれ変わって新しい自分になる」というイメージで頑張ってほしいと思います。

巳年に起こった国内外で起こった出来事には、太平洋戦争の幕開けとなった真珠湾攻撃（1941）、平成時代の始まり（1989）、ベルリンの壁の崩壊（1989）、アメリカの同時多発テロ（2001）等がありまして、いずれも世の中が大きく変わっていった年でした。

前回の巳年は2013年でしたが、「オリンピック・パラリンピック」が日本で開催されることが決定した年、安倍元総理大臣が「アベノミクス」を表明した年、最近あまり話題にされませんが日本が「TPP交渉参加」を表明した年でした。良いこともあれば、そうでないこともありました。

世の中の出来事よりも、自分のことで精一杯という人の方が多いと思います。人間の脳は、目標を立てて決意するだけで、新しい自分になった気分になるようにできているそうです。ただし、決意した後に行動を起こさなかった人は、何も変わっていない自分に気付いて挫折します。「生まれ変わって新しい自分になる」ために大事なことは行動すること、実践することです。

「新しい自分になる」ということは言い換えれば「成長する」ということです。そのためには、行動や実践の結果に御褒美を求めないことが絶対条件であることを多くの科学者が証明していますので、参考にしてください。

2つめです。12月中旬頃からインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎、新型コロナウイルス感染症が流行し始めました。これらの感染症に罹患すると一定期間は出席停止となり、回復すれば登校できるようになります。

日数が経過すれば問題なく治癒する人がいる一方で、感染すると大きなダメージを受ける人もいます。それは年齢や性別には関係ありません。

学校にとりましては、学級閉鎖や学年閉鎖になりますと、登校日数の少ない3学期の運営に支障が出ます。特に3年生は学級閉鎖や学年閉鎖の中での学年末考査はありえません。自宅学習期間が短くなることもありますので、各自で気を付けてほしいと思います。

今朝の新聞に、今年4月7日から風邪が感染症法上で第5類に分類されるという記事がありました。ただし、インフルエンザやコロナ感染症と違って、「学校の出席停止期間は設けない」と書かれていました。第5類に分類されても風邪はこれまで通り欠席扱いになりそうですので、日頃から健康管理、体調管理に気を付けてください。

最後です。年末から年始にかけて、畜産科卒業生の廣池康志郎さんの話題がテレビや新聞等で報道されましたが、併せて、本校野球部の今年の活躍を期待する言葉も聞かれました。

また、畜産科の養豚専攻の皆さんが地元企業との連携で「都城農業高校お米豚」の販売会を行ったということも話題になりました。ある企業の方から「お米豚を我が社の周年事業の記念品にできませんか。」との問合せもいただいたところです。

先程、表彰伝達を行いました。本校に関係する良い結果や取組が新聞やテレビ等で報道がなされる度に本校を応援してくださっている方々からお褒めの言葉をいただいたり、今後を期待する言葉を必ずいただきます。

都城農業高校は活気のある学校としていろいろなところで注目されています。高評価を受けている学校の生徒であるという自信と誇りを持つとともに、評価に相応しい言動に努めるようお願いします。

例えば、皆さんの中でいじめや問題行動が起これば、良い評価は一瞬で崩れて消え去ってしまいます。地域住民の方々から「ここに都城農業高校があって良かった」と思われるような生徒の皆さんの言動を期待して話を終わります。

令和7年1月7日  
都城農業高等学校  
校長 山下 勉